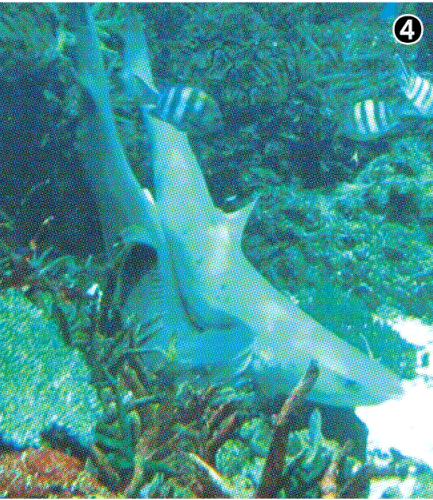
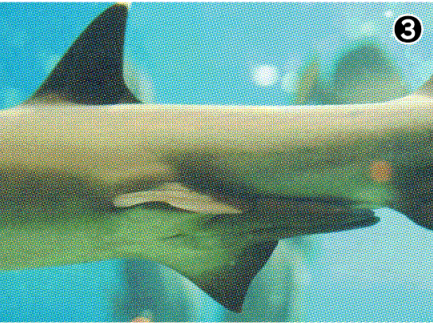
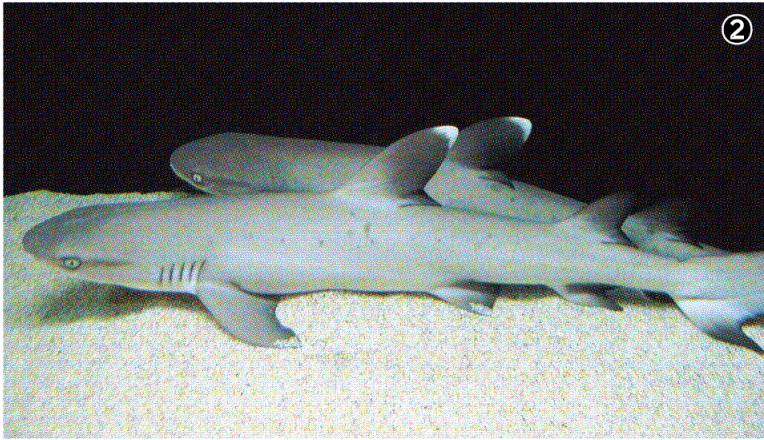
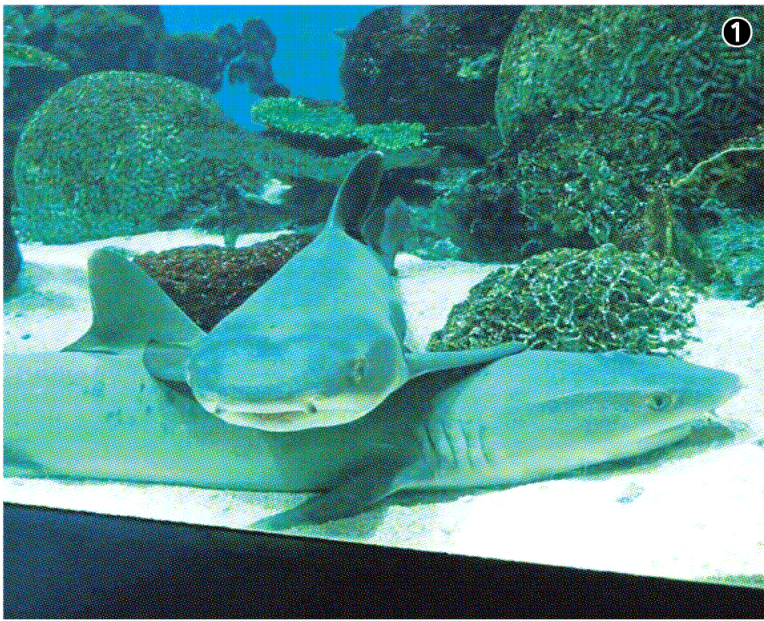


①かごしま水族館開館時から飼育しているネムリブカの雄（上）と雌②生まれて1週間の子ザメ③雄のクラスパー（交尾器）④交尾の様子。雄が雌にかみついて体を固定します



かごしま水族館の「南西諸島の海」コーナーにあるサンゴ礁の大水槽。ここでは1997年の開館時から2匹のネムリブカを飼育しています。搬入時の大きさはおよそ100センチで、現在は160センチほどに成長。私も飼育担当として長年関わってきました。

雄と雌のペアで、しばらく子どもが生まれなかったものの、7年半後、ついに雄、雌1匹ずつの計2匹の子ザメが誕生しました。水槽内での繁殖が実現したのです。その後は順調に1〜5年間隔で出産を確認でき、20匹以上生まれています。無事に育った子ザメは、ほかの水族館に寄贈しました。ネムリブカは体内受精をします。そ

ネムリブカ 長生きペアの繁殖記録

のため雄の腹びれにクラスパー（交尾器）があり、この有無で雄と雌を見分けることができます。交尾は激しく、雄が雌にかみついて体を固定し、クラスパーを雌の体内に差し込んで精子を送り込みます。交尾後の雌の体には痛々しい傷が見られました。

その後1年ほどの妊娠期間を経て、60〜80センチ、1・3〜2匹の子ザメを1回につき1〜4匹産みました。昨年も4匹生まれましたが、そのうち2匹は死産で、サメの姿にはなっていたものの、大きく育つ前に成長が止まってしまったようでした。ここ数年はそういうケースが多くなっています。

ネムリブカの寿命は最長でも25歳くらいといわれています。当館の2匹は飼育期間だけでも26年を超えており、かなり高齢での繁殖であることも、死産になる原因の一つかもしれません。この人気者の2匹を今後もできるだけ長く、繁殖可能くらい健康な状態で飼育していければと思います。（企画営業係長・山田守彦）